

あっぱれ! 100歳
ご長寿おめでとうございます



家族らと長寿を祝うキクさん (前列中央)

宇部 キクさん (宇部町)
長寿の秘訣は笑顔

11月10日に100歳の誕生日を迎えた宇部キクさん。8日、遠藤謙一市長が自宅を訪問し、お祝い状と祝い金を手渡しました。贈呈後、家族や親せきで記念撮影。みんなで長寿を祝いました。現在、お孫さんがお産・子育てのために里帰り中ということで、キクさんはひ孫を抱きミルクをあげているそうです。キクさんに長寿の秘訣を伺うと「いつでも笑っていることです」と素敵な笑顔で応えてくれました。



花束を掲げるキヨさん (中央右)

類家 キヨさん (旭町)
施設全体で長寿を祝う

11月15日に100歳の誕生日を迎えた類家キヨさん。16日に入所する施設でお祝い会が開催されました。遠藤市長から、お祝い状と祝い金が、家族や施設関係者から花束が贈呈されると、会場からは大きな拍手が贈られました。キヨさんは昔から商売をしていたそうで、若いころの趣味は踊りや歌、ゲートボール。家族には、100歳まで生きると堂々と言っていたそうです。

伝統芸能の保存に助成金が贈呈

NEWS

アサヒグループ・コミュニティ助成事業



佐々木課長 (中央) と目録を掲げ記念撮影

11月5日、アサヒグループホールディングス株式会社から「夏井大梵天神楽保存会」「侍浜の地唄・神輿・お囃子を継承する会」「霜畑民俗芸能保存会」の3団体に助成金が贈呈されました。同日、市役所で行われた贈呈式では、アサヒビール株式

会社東北統括本部の佐々木淳也復興支援担当課長から支援団体を代表して夏井大梵天神楽保存会の播磨孝則会長に目録が手渡されました。播磨会長は「15年ほど前から地元の小中学生10人くらいに毎年神楽を教えてきました。本年から中学生全員に教えるようになったのですが、衣装などが不足しているのです。今回の助成に応募しました。今後ますます神楽の継承に力を入れていきます」と感謝と決意を述べました。この事業は、同社のCSR(企業の社会的責任)活動の一環として、東日本大震災被災市町村のコミュニティ組織に助成しているもの。当市では3団体に対して、合計約175万円が交付されました。

久慈市役所本庁舎外3施設の敷地内全面禁煙

INFO

閩財政課 ☎ 52-2113



元気の泉敷地図



市役所本庁舎敷地図



市役所分庁舎敷地図



山形総合支所敷地図

当市では、受動喫煙被害を防止し、市民や職員の健康を守るため、平成31年2月1日より、4施設の敷地内(庁舎建物、駐車場、車両内(来庁者車を含む)、緑地帯)を全面禁煙とします。職員、来庁者を含め全ての人が対象となります。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



▼開始日:平成31年2月1日(金)
▼対象施設:市役所本庁舎、元気の泉、山形総合支所、市役所分庁舎
▼範囲:敷地図を参照。黒枠線内が敷地範囲となります

除雪作業に協力をお願いします

INFO

閩土木課 ☎ 52-2124

1. 路上駐車はやめましょう

路上駐車があると、除雪を行えないだけでなく、緊急車両の通行の妨げになります。絶対にやめましょう。

2. 道路への雪出しは通行の妨げ

除雪後の道路に雪を出すと、わだちが発生し、通行の妨げになるばかりか、事故の原因にもなります。絶対にやめましょう。

3. 枝の伐採はお早めに

個人所有の土地から道路に伸びる枝などは所有者に管理責任があります。雪の重みで折れて、歩行者や車両に危険が及ぶ恐れがあるため、早めの伐採をお願いします。

4. 玄関前などはご家庭で

除雪車の構造上、除雪した道路脇に雪が残ってしまいます。玄関前や私道などはご家庭や地域で除雪をお願いします。

5. 凍結抑制剤などの散布

坂道には凍結抑制剤入りの砂缶を設置していますので、散布にご協力をお願いします。また、市道への散布にご協力いただける場合は、凍結抑制剤を提供しますので、行政連絡区長等を通じてお問い合わせください。

6. 公共交通の利用を

バス路線を優先的に除雪します。雪道の渋滞を緩和するため、できるだけ公共交通機関を利用しましょう。

7. 路面状況に合った運転を

路面状況に合ったスピードと安全運転を心掛けましょう。

安全で円滑な道路交通を確保するためには、皆さん一人一人のご協力が不可欠です。長い道路延長を限られた機械で除雪するため、場所によっては除雪車がなかなか来ない場合もありますが、ご理解いただくと幸いです。

除雪の担当

●国道45号
三陸国道事務所
久慈維持出張所
☎ 53-2790

●国道281号・395号・県道
東北広域振興局土木部
☎ 53-4990

●市道(久慈地区)
土木課 ☎ 52-2124

●市道(山形地区)
産業建設課 ☎ 72-2129



たすきを次のランナーへ

秋晴れの中を走り抜ける

NEWS

第23回久慈もぐらんぴあ駅伝競走大会

11月4日、久慈もぐらんぴあ駅伝が夏井町で開催。久慈国家石油備蓄基地の交差点から洋々橋までを周回するコースを82チーム619人が走り抜きました。当日は、例年より温かい秋晴れに恵まれる絶好の駅伝日和。選手たちは家族や仲間たちの大きな声援を受け、仲間が待つ中継地点まで、全力でたすきをつなぎました。この大会は、もぐらんぴあオープン後に、健全な心身の発達などを目的に始まったもの。以前は、もぐらんぴあから舟渡海水浴場までの往復コースでしたが、湊橋の工事のため、現在のコースで開催しています。

順位	1位	2位	3位
小学生	野田小のんちゃん's A	パラダイス	久慈湊小A
中学校男子	長内中学校A	久慈中学校A	種市中学校
中学校女子	久慈中学校	長内中学校A	大野中学校
高校男子	久慈高校陸上競技部B	久慈高校陸上競技部A	—
高校女子	久慈高校陸上競技部女子	—	—
一般4区	盛岡大学陸上部	久慈市陸協	侍浜中走友会
一般6区	大野かみRC	アンバーランニングクラブ	アメリカン・ドリーム



スタートの号砲と同時に一斉に走り出すランナー

*近年、道路の除雪を担う業者が不足しています。除雪にご協力いただける業者または個人がおりましたら、ご連絡ください。